

2018年5月28日  
愛知製鋼株式会社

## 国際ステンレススチールフォーラム（ISSF）において 高圧水素用ステンレス鋼が「Best New Technology Award」受賞

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、5月21日（月）より25日（金）まで中華人民共和国 上海市にて開催された「国際ステンレススチールフォーラム（ISSF）」において、「Best New Technology Award（新技術開発賞）」の銅賞を受賞しました。

これは、本大会の中で開催される年次総会のオープンパネルセッションにおいて、新しい技術を適用したステンレス鋼の新用途開発事例を対象に、そのステンレス市場発展への継続的活動を評価し、表彰されるものです。

当社は2014年に、トヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI」の水素充填口用の高圧水素用ステンレス鋼「AUS316L-H2」を開発し、水素社会の進展に大きく貢献してきました。

そしてこの度、上記フォーラムにおいて、本開発鋼が独自の成分設計により、高強度かつ高圧水素環境で優れた延性を示すステンレス鋼として、燃料電池車の安全性・信頼性の向上に貢献してきたことが評価され、受賞に至りました。

当社は引き続き、高圧水素用ステンレス鋼を含め、素材メーカーとしてスマート社会に貢献する付加価値の高い製品を提供していくことで、地球に優しい社会の実現に貢献してまいります。



5月24日（木）の表彰式の模様